

「元気とやま創造計画アクションプラン(R5年度版)」

政策の柱	安心とやま	政策名	14 循環型社会・低炭素社会づくりの推進
政策目標	循環型社会・低炭素社会づくりについて県民・事業者の理解が深まり、エコライフの実践・定着が進むとともに、環境に配慮した事業活動や環境保全活動が広く実施されていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R5予算額
(1)省エネルギーの推進	<p>■県民・事業者による省エネルギー対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新】カーボンニュートラル推進事業 民間事業者等からの提案募集により、県民や事業者等の行動変容のきっかけを創出し、カーボンニュートラルの意義や必要性に対する理解促進を図る。 ・カーボンニュートラル普及促進事業 カーボンニュートラル推進の取組みを普及啓発 ・地球温暖化防止活動推進センター支援事業 地球温暖化防止活動推進員の活動支援、地球温暖化防止活動アドバイザーの設置 ・【新】脱炭素化モデル中小企業育成事業(再掲) カーボンニュートラル県内中小企業者がサプライチェーンで選ばれ続けるため、各業種における脱炭素経営のモデル企業を育成 ・省エネ型事業活動推進事業(エコアクション21推進事業) 多くの事業者が一斉にエコアクション21の認証・登録を目指すプログラムの実施 ・【拡】住宅・建築物省エネ化推進事業 既存住宅の省エネ改修を支援するとともに、目指すべき省エネ住宅「富山型ウェルビーイング住宅(仮称)」の性能及び推進方策を検討・設定 ・富山県住みよい家づくり資金融資事業(再掲) 「省エネ改修」等のリフォーム工事に融資 ・【新】EV導入促進事業 EV(電気自動車)の普及拡大に向けて、個人・事業者によるEV導入や、商業施設等での充電設備の導入を支援 ・【新】県有施設の照明LED化推進事業 カーボンニュートラルの実現に向けた県庁の率先行動として、県有施設の照明のLED化工事を実施 ・とやま環境未来チャレンジ事業(再掲) 小学校で地球温暖化・3R・食品ロス対策等に関する学習プログラムを実施 ・エコな配達推進事業 県民・事業者・行政が連携協力して、再配達削減のための啓発や効果測定を実施 <p>■公共交通機関の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノーマイカー運動の実施 県民に公共交通の利用を呼びかけ、マイカーに依存した生活の見直しを促進 ・パークアンドライド推進事業(再掲) パークアンドライド施設整備事業等への補助 	<p>6,280</p> <p>1,400</p> <p>3,471</p> <p>9,800</p> <p>181</p> <p>35,400</p> <p>372,369 の一部</p> <p>33,100</p> <p>1,060,000</p> <p>3,500</p> <p>1,500</p> <p>2,000</p> <p>13,367 の一部</p>
(2)環境にやさしいエネルギーの導入・利活用の推進	<p>■再生可能エネルギー等の導入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新】小水力発電導入可能性調査事業 小水力発電の導入拡大に向けて、河川や上下水道を対象とした導入可能性調査などを実施 ・団体営地域用水環境整備交付金事業(再掲) 小水力発電施設の整備 ・県営発電所老朽化対策事業(再掲) 固定価格買取制度を活用したリプレース(全面的更新)を実施 ・【新】再生可能エネルギー導入促進事業 カーボンニュートラルの実現に向けて、県民や県内企業に対し、自家消費型太陽光発電設備や再エネ熱利用設備の導入を支援 ・【新】県有施設の太陽光発電設備設置事業 省エネ・再エネの導入促進、カーボンニュートラル戦略における県の率先行動目標の達成に向け、県有施設にて太陽光発電設備を計画的に設置 ・【拡】とやま成長産業創造プロジェクト推進事業(再掲) 成長が期待される分野での事業化を進めるため、研究会活動に加え、グリーン成長戦略分野に関連する新製品、新技術の研究開発を支援 ・【拡】燃料電池車両普及促進事業(再掲) 脱炭素社会構築に向け、水素の利活用を推進するため、燃料電池車両の導入を支援 <p>■技術開発の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【拡】産学官オープンイノベーション推進事業 成長産業分野の産学官連携による技術開発や新製品開発を促進 -「イノベーション創出促進事業(環境・エネルギー分野)」(再掲) 新商品・新事業を創出する応用研究開発を支援 	<p>20,000</p> <p>2,622</p> <p>3,026,880</p> <p>282,000</p> <p>54,714</p> <p>59,246 の一部</p> <p>5,000</p> <p>32,647 の一部</p>

(3)環境教育の推進、環境保全活動の拡大	■環境教育の推進 ・気候変動適応センター事業 気候変動適応センター(環境科学センター)における気候変動影響の調査研究・情報発信 環境教育拠点施設「環境楽習室 エコ・ラボとやま」の運営 気候変動による本県の水環境への影響に関する富山大学との共同研究 カーボンニュートラル戦略県民啓発エコ・ラボ事業	8,747
	・環境保全相談室の運営事業 環境問題や環境保全活動に関する相談、情報提供、普及啓発を実施	1,438
	・とやま環境未来チャレンジ事業 小学校で地球温暖化・3R・食品ロス対策等に関する学習プログラムを実施	3,500
	・海洋教育推進事業 学校での「海洋教育」を支援する海洋教育Webアプリを用いた出前授業や海洋教育の普及啓発を実施	500
	■環境保全活動の拡大 ・とやまエコ・ストア制度普及・拡大事業 登録事業者の追加募集、制度の普及啓発(ノートレイやバイオマスプラスチック等の代替容器への転換の推進を含む)等を実施	1,030
	・環境とやま県民会議運営 環境とやま県民会議の運営、表彰式の開催	745
	・とやまエコライフ推進事業 とやま環境フェアの開催、県内10市においてエコライフ・イベントを実施等	1,940
	・エコドライブ推進運動費(再掲) エコドライブとやま推進協議会の開催、エコドライブ体験会の開催	158
	・大気環境計画の推進(再掲) スターウォッチング(星空観察会)の開催など、関係団体と連携した取組みの推進	314
	■二酸化炭素吸収源としての森林の整備・保全の推進 ・造林事業(再掲) 森林の有する公益的機能の発揮のため、間伐や枝打ちなど森林の整備を推進	341,000
・里山再生整備事業(再掲) ー県民協働による、里山林の整備を推進 ークマ等の野生動物の移動経路となる河岸段丘等での里山林整備	211,399	
・みどりの森再生事業(再掲) 奥地の過密人工林や竹林が侵入した人工林などを整備し、混交林に誘導	75,872	

＜参考＞
活動指標

指標名	現況 R3年度	目標		指標の説明
		R3 (2021年度)	R8 (2026年度)	
エコアクション21の新規登録事業者数	172事業者	—	186事業者	環境省が策定した中小企業向け環境マネジメントシステムであるエコアクション21に新規に登録した事業者の累積数
とやま環境チャレンジ10への参加児童数	51,841人	49,000人	66,000人	とやま環境チャレンジ10に参加した児童の累積数